

第6次行財政改革大綱に基づく平成26年度の主な取組状況
(目標値の平成26年度実績見込み)

I 県庁改革目標値

※右欄の○は目標達成、×は未達成
ーは現時点で未集計 ↓

【「新しい公共」の視点に立った連携・協働の推進】

| | 取組目標 [現状値] | 目標値 | | 平成26年度までの状況 |
|---|---|--------------------|------------------------|--|
| | | 26年度(中間年度) | 28年度 | |
| 1 | NPO等との協働事業数を年間250件に増加【生活文化課】 [H22:144件] | 212件 | 250件 | ・H24:174件 ・H25:199件 ・H26:ー (H27.2月集計予定) |
| 2 | 企業との連携・協働事業のマッチング数を25件に増加【政策審議室】 [H23:2件] | 15件 (累計) | 25件 (累計) ※上方修正予定 | ・H24:28件 ・H25:51件【累計】 ・H26:69件【累計】 (H26.12月末時点) |
| 3 | 道路除草ボランティアの参加延べ人数を年間600人程度に拡大【道路維持課】 [H22:395人] | [毎年度] 600人程度 | | ・H24:299人 ・H25:505人 ・H26:647人 (H27.1月時点) |
| 4 | 公園サポーターを16団体に拡大【公園街路課】 [H22:14団体] | 15団体 | 16団体 | ・H24:13団体 ・H25:14団体 ・H26:14団体 (H27.1月時点) |
| 5 | 河川愛護活動への参加人数を年間48,000人程度に拡大【河川課】 [H22:47,198人] | [毎年度] 48,000人程度 | | ・H24:40,472人 ・H25:39,629人 ・H26:ー (H27.3月集計予定) |
| 6 | 自主防災組織の活動カバー率を72%まで引き上げ【防災・危機管理課】 [H23当初:61.0%] ※活動カバー率＝自主防災組織が活動範囲としている地域の世帯数／県内の世帯数 | 68.0% | 72.0% ※上方修正予定 | ・H24:66.8% ・H25:72.3% ・H26:ー (H27.12月公表) |
| 7 | 社会貢献に係る人材育成講座の受講者数を500人にする。【生涯学習課】 [H22:ー(H23開始)] | 300人 (累計) | 500人 (累計) | ・H24:172人 ・H25:366人【累計】 ・H26:405人【累計】 |
| 8 | 審議会等における女性委員の割合を35%にする。【女性青少年課】 [H22:31.1%(238人)] | [毎年度] 35% | | ・H24:31.4%(239人) ・H25:32.3%(242人) ・H26:32.4%(245人) |

【人材の育成・活用、組織力の強化】

| | 取組目標 [現状値] | 目標値 | | 平成26年度までの状況 |
|----|---|-----------------|-------|---|
| | | 26年度(中間年度) | 28年度 | |
| 9 | 職員採用ガイダンス及び大学等主催説明会の年間参加者数を800人以上にする。【人事委員会事務局】 [H22:644人] | [毎年度] 800人以上 | | ・H24:671人 ・H25:830人 ・H26:746人 |
| 10 | 教員採用に係る説明会の実施大学数を年間延べ30大学にする。 [H23:23大学]【教育庁総務課】 | 28大学 | 30大学 | ・H24:20大学 ・H25:27大学 ・H26:28大学 |
| 11 | 任期付職員・研究員の任用数を年間15人程度にする。(知事部局)【人事課】 [H23:13人] | 14人 | 15人 | ・H24:14人 ・H25:12人 ・H26:13人 |
| 12 | 政策立案・調整部門に占める技術職員の割合を20%程度にする。【人事課】 [H23:12.3%(14人)] | 16.9% | 20.0% | ・H24:11.7%(13人) ・H25:11.7%(13人) ・H26:12.4%(14人) (H26.4月時点) |

| | | | | | |
|----|--|-----------------|-------|---|---|
| 13 | 課長補佐級以下の職員の外部組織経験割合を30%にする。(知事部局) [H23: 23.3%(1,049人)]【人事課】 | 27.3% | 30.0% | ・H24: 26.1%(1,146人) ・H25: 28.9%(1,256人) ・H26: 32.5%(1,413人) (H26.4月時点) | ○ |
| 14 | アイデアオリムピックの提案数を毎年度100件以上【行革・分権室】 [H23: 83件] | [毎年度] 100件以上 | | ・H24: 87件 ・H25: 136件 ・H26: 265件 | ○ |
| 15 | 前例にとらわれず、新たな発想で取り組む職員の割合を80%にする。 [H23: 51.6%(1,334人)]【人事課】 | 69.0% | 80.0% | ・H24: 47.1%(1,594人) ・H25: 61.1%(2,419人) ・H26: 61.4%(2,515人) | × |
| 16 | 男性職員の配偶者出産休暇の取得率を100%にする。【人事課】 [H22: 89.7%(140人)] | 100% | 100% | ・H24: 88.1%(111人) ・H25: 91.2%(114人) ・H26: — (H27.2月集計予定) | — |
| 17 | 男性職員の育児参加休暇の取得率を100%にする。【人事課】 [H22: 21.1%(38人)] | 100% | 100% | ・H24: 36.1%(48人) ・H25: 33.3%(43人) ・H26: — (H27.2月集計予定) | — |

【県民サービスの向上】

| | 取組目標 [現状値] | 目標値 | | 平成26年度までの状況 | |
|----|---|---|-------------------|---|---|
| | | 26年度(中間年度) | 28年度 | | |
| 18 | 県民ご意見ボックスによるサービス提供に係る評価の平均を5段階中、4以上に向上【行革・分権室】 [H22: 3.75] | 3.9 | 4.0 | ・H24: 4.01 ・H25: 3.97 ・H26: 3.75 (H26.12月時点) | — |
| 19 | 県ホームページへのアクセス件数を1億4,000万件に倍増【広報広聴課】 [H22: 6,520万件] | 1億1,200万件 | 1億4,000万件 | ・H24: 8,236万件 ・H25: 9,063万件 ・H26: 7,562万件 (H26.12月末時点) | — |
| 20 | 県政出前講座の件数を年間700件にする。【政策審議室】 [H22: 623件] | 670件 | 700件 | ・H24: 892件 ・H25: 794件 ・H26: 360件 ※上方修正予定 (H26.9月末時点) | — |
| 21 | 規制の廃止・緩和、行政手続簡素化等を30事務について実施【行革・分権室】 [過去3年の平均: 6事務] | 18事務 (累計) | 30事務 (累計) | ・H24: 3事務 ・H25: 9事務【累計】 ・H26: — (H27.4月集計予定) | — |
| 22 | 利用促進対象手続のオンライン利用率を60%まで引上げ【情報政策課】 [H22: 36.0%] | 51.0% | [H27までに] 60.0% | ・H24: 43.5% ・H25: 46.5% ・H26: 45.9% (H26.9月時点) | — |
| 23 | 地図情報の利用件数を年間120万件に増加【情報政策課】 [H22: 82万件] | 115万件 | [H27までに] 120万件 | ・H24: 66万件 ・H25: 53万件 ・H26: 47万件 (H26.12月時点) | — |
| 24 | 自治体クラウドを導入する情報システムのコストを30%削減【情報政策課】 [—] | [H25~27] システム更新時にクラウドを導入する情報システムのコストを30%削減 | | ・H24: — (クラウドへの移行) ・H25: 県域統合型GISを導入し整備運営費を70%削減 ・H26: グループウェア、電子申請・届出に導入し整備運営費を30%削減 | ○ |
| 25 | 電子調達システムによる入札案件のうち電子での入札書提出率を80%にする。【会計管理課】 [H24.1月稼働] | 48.0% | 80.0% | ・H24: 72.3% ・H25: 77.8% ・H26: 77.7% (H26.12月末時点) | ○ |

| | | | | | |
|----|--|-------|-------|---|---|
| 26 | 電子入札システムの市町村との共同利用を22市町村に拡大【検査指導課】 [H22: 17市町村] | 20市町村 | 22市町村 | ・H24: 18市町村 ・H25: 18市町村 ・H26: 21市町村 | ○ |
| 27 | 土木設計積算システムの市町村との共同利用を22市町村に拡大 [H22: 17市町村]【検査指導課】 | 20市町村 | 22市町村 | ・H24: 19市町村 ・H25: 21市町村 ・H26: 21市町村 | ○ |

【業務の進め方の見直し、無駄ゼロの推進】

| | 取組目標 [現状値] | 目標値 | | 平成26年度までの状況 | |
|----|---|-----------------------|--------------------|--|---|
| | | 26年度(中間年度) | 28年度 | | |
| 28 | 審議会・懇談会等を概ね150機関程度に削減【人事課】 [H22: 165機関] | 156機関 | 150機関 | ・H24: 161機関 ・H25: 154機関 ・H26: 153機関 | ○ |
| 29 | 県立試験研究機関と外部機関との共同研究数を120件に増加 [H23: 112件]【科学技術振興課】 | 116件 | [H27までに] 120件 | ・H24: 140件 ・H25: 157件 ・H26: 156件 (H26. 12月時点) | ○ |
| 30 | 年間の電気使用量(庁舎用)についてエネルギー消費原単位で対前年比1%以上低減(H21: 46.80kwh/m ²) [H21: 対前年比▲0.99%]【環境政策課】 | [H24~27] 対前年比▲1%以上 | | ・H24: 対前年比+11.6% (H24: 46.24kwh/m ²) ・H25: 対前年比▲12.3% (H25: 40.56kwh/m ²) ・H26: 対前年比▲1.0% (H26: 40.15kwh/m ²) | ○ |
| 31 | 年間の用紙類の使用量をH21年度比で11%削減(H21: 236,019千枚) [H21: -%]【環境政策課】 | ▲9.1% | [H27までに] ▲11.0% | ・H24: +3.9% (H24: 245,133千枚) ・H25: +6.4% (H25: 251,062千枚) ・H26: +4.4% (H26: 246,342千枚) | × |

Ⅱ 財政構造改革目標値

【財政健全化目標】

| | 取組目標 [現状値] | 目標値 | | 平成26年度までの状況 | |
|---|--|--------------------|--------------------|---|---|
| | | 26年度(中間年度) | 28年度 | | |
| 1 | 実質赤字比率及び連結実質赤字比率の黒字を毎年度維持【財政課】 [H22決算: 黒字] | [毎年度] 黒字を維持 | | ・H24: 黒字 [H23決算] ・H25: 黒字 [H24決算] ・H26: 黒字 [H25決算] | ○ |
| 2 | 実質公債費比率について毎年度全国中位以下を維持【財政課】 [H22決算: 29位] | [毎年度] 全国中位以下を維持 | | ・H24: 32位 [H23決算] ・H25: 32位 [H24決算] ・H26: 28位 [H25決算] | ○ |
| 3 | 将来負担比率について計画的な改善を図り、H30までに250%以下に改善 [H22決算: 280.3%]【財政課】 | — | [H30までに] 250%以下 | ・H24: 276.2% [H23決算] ・H25: 263.3% [H24決算] ・H26: 250.1% [H25決算] | ○ |
| 4 | 県債残高(国の地方財政対策による特例的県債を除く)を毎年度、前年度以下に縮減【財政課】 [H23最終補正: 13,958億円] | [毎年度] 前年度以下に縮減 | | ・H23: 13,861億円 [H23決算] ・H24: 13,581億円 [H24決算] (対前年度▲280億円) ・H25: 13,280億円 [H25決算] (対前年度▲301億円) ・H26: 12,949億円 [H26. 9月補正後] (対前年度▲331億円) | ○ |

| | | | | |
|---|--|-------------------|--|---|
| 5 | 臨時財政対策債を除いたプライマリーバランスについて毎年度黒字を維持【財政課】 [H23最終補正：551億円黒字] | [毎年度] 黒字を維持 | ・H24：988億円黒字 [H24決算] ・H25：969億円黒字 [H25決算] ・H26：780億円黒字 [H26.9月補正後] | ○ |
| | ※中長期的(国同様H32頃を目途)にはプライマリーバランスを黒字化 | | | |
| 6 | 当初予算における県債管理基金からの繰替運用額(H24：80億円)を前年度以下に縮減【財政課】 [H23当初：60億円] | [毎年度] 前年度以下に縮減 | ・H24：80億円 [H24当初] ※最終補正予算で解消 ・H25：140億円 [H25当初] (地方公務員給与削減相 当分の地方交付税の削減により増加) ※最終補正予算で解消 ・H26：60億円 [H26当初] | ○ |
| | ※平成24年度当初予算においては、東日本大震災の影響などにより、繰替運用額が増加 | | | |

【県保有土地対策による将来負担額の縮減】

| | 取組目標 [現状値] | 目標値 | | 平成26年度までの状況 |
|---|--|--|------|--|
| | | 26年度(中間年度) | 28年度 | |
| 7 | 改革工程表に掲げた土地処分目標を達成【政策審議室】 [H22：111.3ha] | 事業区分ごとに作成した改革工程表に基づき、 45～75ha程度/年を処分 ※上方修正予定 | | ・H24：100.5ha ・H25：52.1ha ・H26：22.5ha (H26.12月末時点) |

【歳出改革】

| | 取組目標 [現状値] | 目標値 | | 平成26年度までの状況 |
|----|---|-----------------|--------------------|--|
| | | 26年度(中間年度) | 28年度 | |
| 8 | 一般行政部門の職員数を5.0%(250人)削減【人事課】 [H23：4,993人] | 4,820人 | 4,743人 | ・H24：4,841人 (▲3.0%(▲152人)) ・H25：4,799人 (▲3.9%(▲194人)【累計】) ・H26：4,769人 (▲4.5%(▲224人)【累計】) |
| 9 | 学校の教職員を適正に配置 →2.4%(532人)削減【教育庁総務課】 [H23：22,217人] | 22,016人 | 21,685人 ※上方修正予定 | ・H24：22,021人 (▲0.9%(▲196人)) ・H25：21,794人 (▲1.9%(▲423人)【累計】) ・H26：21,532人 (▲3.1%(▲685人)【累計】) |
| 10 | 学校以外の教育部門の職員数を5.2%(26人)削減【教育庁総務課】 [H23：505人] | 492人 | 479人 | ・H24：509人(0%(+4人)) ・H25：508人 (0%(+3人)【累計】) ・H26：502人 (▲0.6%(▲3人)【累計】) |
| 11 | 警察官を治安情勢を踏まえ適正に配置 →0.6%(28人)増加【警察本部】 [H23：4,710人] | [毎年度] 4,738人 | | ・H24：4,756人(+46人) ・H25：4,753人 (+43人【累計】) ・H26：4,752人 (+42人【累計】) |
| 12 | 警察官以外の警察部門の職員数を1.3%(7人)削減【警察本部】 [H23：544人] | 542人 | 537人 | ・H24：544人(0%(±0人)) ・H25：539人(▲5人) (▲0.9%(▲5人)【累計】) ・H26：542人(▲2人) (▲0.3%(▲2人)【累計】) |

| | | | | | |
|--|---|--------------------|-----------------|--|---|
| 13 | 公営企業等会計部門(医療従事者を除く)の職員数を2.6%(18人)削減 [H23: 691人]【病院局, 企業局】 | 680人 | 673人 | <ul style="list-style-type: none"> ・H24: 705人(0%(+14人)) ・H25: 695人 (0%(+4人))【累計】 ・H26: 680人 (▲1.6%(▲9人))【累計】 | ○ |
| | (参考) 公営企業等会計部門の医療従事者数 [H23: 849人]【病院局】 | 939人 | 939人 | <ul style="list-style-type: none"> ・H24: 868人(+19人) ・H25: 895人(+46人)【累計】 ・H26: 932人(+83人)【累計】 | |
| ※学校の教職員数: 教員, 事務職員等の計 学校以外の教育部門の職員数: 教育委員会事務局, 図書館, 美術館, 博物館等の職員の計 公営企業等会計部門の職員数: 病院, 大学, 企業局, 特別会計の職員の計 | | | | ※診療体制充実のため | |
| 14 | 退職手当を除く人件費を100億円程度削減【財政課】 [H23当初: 3,007億円] | ▲60億円 (累計) | ▲100億円 (累計) | <ul style="list-style-type: none"> ・H24: 2,975億円 [H24当初] (▲32億円) ・H25: 2,932億円 [H25当初] (▲75億円)【累計】 ・H26: 2,901億円 (▲106億円)【累計】 | ○ |
| | ※削減は職員定数削減, 給与制度・構造の見直しによる。 | | | | |
| 15 | 公共投資に充てる県債の発行額を毎年度, 前年度以下に抑制(東日本大震災対応分を除く)【財政課】 [H23当初: 539億円] | [毎年度] 前年度以下に抑制 | | <ul style="list-style-type: none"> ・H24: 486億円 [H24当初] (対前年度▲53億円) ・H25: 366億円 [H25当初] (対前年度▲120億円) ※地域の元気臨時交付金100億円の活用により発行額を抑制 ・H26: 386億円 [H26当初] (対前年度+20億円) ※地域の元気臨時交付金活用分(60億円)を除く実質的発行額は対前年度比▲20億円の減 | × |
| 16 | 行政改革推進債の発行を毎年度40億円以下に抑制【財政課】 [5次大綱期間中の平均: 40億円] | [毎年度] 40億円以下に抑制 | | <ul style="list-style-type: none"> ・H24: 36億円 [H24当初] ・H25: 32億円 [H25当初] ・H26: 38億円 [H26当初] | ○ |
| ※ただし, 各年度の財源確保の状況により, 活用が必要となる場合には, 適切に活用 | | | | | |
| 17 | 縮減・重点化により公共投資を15%(179.6億円)以上削減【財政課】 [H23当初: 1,197億円] | ▲107.8億円 | ▲179.6億円 | <ul style="list-style-type: none"> ・H24: 1,016億円 [H24当初] (▲181億円) ・H25: 1,079億円 [H25当初] (▲118億円)【累計】 ・H26: 961億円 [H26当初] (▲236億円)【累計】 | ○ |
| | ※15%以上削減することを基本としつつ, 経済情勢を踏まえ機動的・弾力的に対応(東日本大震災対応分, 維持補修費を除く) | | | | |
| 18 | 公共工事の総合的なコストを15%削減【検査指導課】 [H21: ▲7.3%(約67億円相当)] | [H25までに] ▲15% | [H26] 新目標値設定 | <ul style="list-style-type: none"> ・H24: ▲12.3% ・H25: - (H27.3月頃確定) ・H26: - (H27.12確定予定) | - |
| 19 | 橋長15m以上の橋梁297橋について長寿命化対策を実施 [H22: 25橋]【道路維持課】 | 222橋 (累計) | 297橋 (累計) | <ul style="list-style-type: none"> ・H24: 77橋 ・H25: 179橋【累計】 ・H26: 220橋【累計】 | × |

| | | | | | |
|----|--|---------------|---------------|--|---|
| 20 | 河川管理施設（12施設）71箇所について長寿命化対策を実施【河川課】 | 28箇所 （累計） | 71箇所 （累計） | ・H24：計画策定 ・H25：5箇所 ・H26：20箇所 | × |
| 21 | 港湾施設（74施設）78箇所について長寿命化対策を実施【港湾課】 | 72箇所 （累計） | 78箇所 （累計） | ・H24：計画策定作業 ・H25：計画策定、72箇所 ・H26：74箇所 | ○ |
| 22 | 都市公園施設（18公園）505箇所について長寿命化対策を実施【公園街路課】 | 170箇所 （累計） | 505箇所 （累計） | ・H24：計画策定 ・H25：7箇所 ・H26：128箇所【累計】 （H27.1月時点） | — |
| 23 | 下水道施設（9施設）871箇所について長寿命化対策を実施【下水道課】 | 203箇所 （累計） | 871箇所 （累計） | [H元年度以前供用開始の施設] ・H24：3箇所 ・H25：108箇所【累計】 ・H26：174箇所【累計】 ----- [H2年度以降供用開始の施設] ・H24：計画策定作業 ・H25：計画策定 ・H26：71箇所 | ○ |
| 24 | 市町村，団体に対する補助金の見直し等により，補助金を15%(126.2億円)以上削減【財政課】 [H23当初：841億円] | ▲75.8億円 | ▲126.2億円 | ・H24：836億円 [H24当初] （▲5億円） ・H25：805億円 [H25当初] （▲36億円）【累計】 ・H26：763億円 [H26当初] （▲78億円）【累計】 | ○ |
| 25 | 維持管理経費を10%(16.6億円)以上削減【財政課】 [H23当初：166億円] | ▲10.0億円 | ▲16.6億円 | ・H24：163億円 [H24当初] （▲3億円） ・H25：161億円 [H25当初] （▲5億円）【累計】 ・H26：168億円 [H26当初] （+2億円）【累計】 ※施設の計画的な修繕の実施等による増 | × |
| 26 | 一般職員住宅を16棟219戸に削減【総務事務センター】 [H23：24棟331戸] | 21棟299戸 | 16棟219戸 | ・H24：22棟319戸 ・H25：22棟319戸 ・H26：21棟299戸 | ○ |
| 27 | 教職員住宅を15棟108戸に削減【福利厚生課】 [H23：32棟232戸] | 19棟138戸 | 15棟108戸 | ・H24：25棟184戸 ・H25：20棟150戸 ・H26：19棟138戸 | ○ |
| 28 | 公営企業会計・特別会計への繰出金を10%(6.2億円)以上削減【財政課】 [H23当初：62億円] ※国の基準に基づくものや保有土地対策を除く。 | ▲3.8億円 | ▲6.2億円 | ・H24：63億円 [H24当初] （+1億円） ・H25：61億円 [H25当初] （▲1億円）【累計】 ・H26：63億円 [H26当初] （+1億円）【累計】 ※港湾事業の繰出対象となる償還金の増 | × |

【歳入の確保】

| | 取組目標 [現状値] | 目標値 | | 平成26年度までの状況 |
|----|---|------------|------------------|---|
| | | 26年度(中間年度) | 28年度 | |
| 29 | 県税徴収率を全国上位水準まで引き上げる。【税務課，市町村課】 [H22：95.0%] | 95.9% | 96.5% ※上方修正予定 | ・H24：95.9% ・H25：96.2% ・H26：96.4%（見込み） |
| | （県賦課徴収分） [H22：97.4%] | 98.1% | 98.4% ※上方修正予定 | ・H24：98.3% ・H25：98.5% ・H26：98.4%（見込み） |

| | | | | | |
|----|---|--------------|------------------|--|---|
| | (個人県民税[均等・所得割]) [H22: 89.9%] ※徴収率=収入額/課税額 | 91.3% | 92.5% ※上方修正予定 | ・H24: 90.7% ・H25: 91.4% ・H26: 92.2% (見込み) | ○ |
| 30 | 県庁舎における年間の有料広告掲出 収入を20万円に倍増【管財課】 [H23: 9万円] | 15万円 | 20万円 ※上方修正予定 | ・H24: 28万円 ・H25: 23万円 ・H26: 150万円 (H27.1月末時点) | ○ |
| 31 | 一般競争入札が可能な自動販売機の 入札実施率を100%にする。【管財課】 [H23: 66.0%(452台)] | 94.0% | 100% | ・H24: 90% ・H25: 91% ・H26: 95% | ○ |
| 32 | 県有未利用地の売却で15億円程度を 確保【管財課】 [H22: 3億円] | 9億円 (累計) | 15億円 (累計) | ・H24: 7.0億円 ・H25: 10.6億円【累計】 ・H26: 13.6億円【累計】 (H27.1月末時点) | ○ |
| 33 | 過年度分の税外未収金を20億円回収 【行革・分権室】 [H22: 3.8億円] | 12億円 (累計) | 20億円 (累計) | ・H24: 5.5億円 ・H25: 10.3億円【累計】 ・H26: 15.6億円【累計】 (H26.12月時点) | ○ |

Ⅲ 出資団体改革目標値

【出資団体のあり方の抜本的見直し】

| | 取組目標 [現状値] | 目標値 | | 平成26年度までの状況 | |
|---|--|------------------|------------------|---|---|
| | | 26年度(中間年度) | 28年度 | | |
| 1 | 県出資団体数をH29年度には30団体ま で削減【出資団体指導室】 [H23当初: 48団体] | [H25までに] 40団体 | [H29までに] 30団体 | ・H24: 42団体 ・H25: 42団体 ・H26: 41団体 (H26.12月時点) | × |

【経営健全化の推進】

| | 取組目標 [現状値] | 目標値 | | 平成26年度までの状況 | |
|---|--|----------------------------|-----------------|---|---|
| | | 26年度(中間年度) | 28年度 | | |
| 2 | 経営評価「概ね良好」法人比率を 45%に増加【出資団体指導室】 [H22: 40%(19法人)] | [H25までに] 45% ※上方修正予定 | [H26] 新目標値設定 | ・H24: 50%(21法人) ・H25: 57%(24法人) ・H26: - (H27.2月下旬確定) | - |

【出資団体への県関与の見直し】

| | 取組目標 [現状値] | 目標値 | | 平成26年度までの状況 | |
|---|--|-------------------|-----------------|---|---|
| | | 26年度(中間年度) | 28年度 | | |
| 3 | 県派遣職員数を130人程度に削減 【出資団体指導室】 [H23当初: 175人] | [H25までに] 130人 | [H26] 新目標値設定 | ・H24: 159人 ・H25: 153人 ・H26: 147人 | × |
| 4 | 補助金等の合計額を150億円程度に削 減(公社対策分を除く) 【出資団体指導室】 [H22: 243億円] | [H25までに] 150億円 | [H26] 新目標値設定 | ・H24: 148億円 ・H25: 131億円 ・H26: - (H27.9月集計予定) | - |

IV 分権改革目標値

【市町村との連携・協力の推進】

| | 取組目標 [現状値] | 目標値 | | 平成26年度までの状況 |
|---|---|-------------|-------------|--|
| | | 26年度(中間年度) | 28年度 | |
| 1 | 移譲対象法令の移譲済市町村割合を 70%に拡大【県民センター総室】 [H23 : 51.0%] ※移譲済市町村割合 = 各法令の延べ移譲済市町村数 / 各法令の延べ 移譲対象市町村数 | 63.0% | 70.0% | <ul style="list-style-type: none"> ・ H24 : 55.3% ・ H25 : 58.5% ・ H26 : 60.5% |
| 2 | 市町村への義務付け・枠付けや事務 負担の廃止・軽減を25件実施 [過去3年の平均 : 3件]【行革・分権室】 | 15件 (累計) | 25件 (累計) | <ul style="list-style-type: none"> ・ H24 : 2件 ・ H25 : 7件【累計】 ・ H26 : — <p style="text-align: right;">(H27.4月集計予定)</p> |

×

—

数値目標等の達成状況

○ 第6次行財政改革大綱に掲げた70項目の数値目標等の中間年度目標（平成26年度）
 について、現時点での目標達成状況

| | 目標数 | 達成項目 | 未達成項目 | 未集計項目 |
|--------|-----|------|-------|-------|
| 県庁改革 | 31 | 13 | 6 | 12 |
| 財政構造改革 | 33 | 24 | 6 | 3 |
| 出資団体改革 | 4 | 0 | 2 | 2 |
| 分権改革 | 2 | 0 | 1 | 1 |
| 全体 | 70 | 37 | 15 | 18 |